

## 集会案内

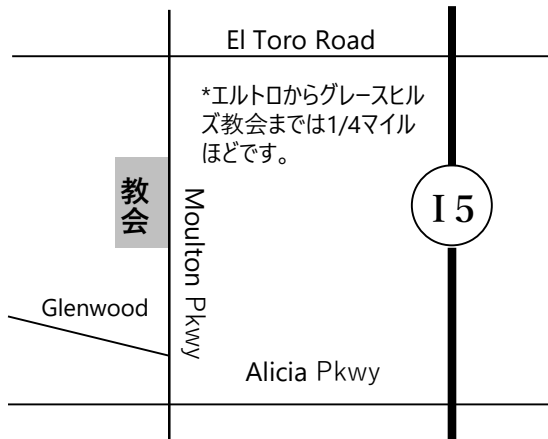
毎日曜日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m  
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m  
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m  
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月 1 回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン  
1 0 : 3 0 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第 1 バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13 年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

## 教会の地図



ホームページ: [www.irvinihongokyokai.org](http://www.irvinihongokyokai.org)

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話： ( 7 1 4 ) 5 2 7 - 1 4 5 6  
Eメール： [sugimura1950@gmail.com](mailto:sugimura1950@gmail.com)  
田畑 彰 牧師 電話： ( 9 4 9 ) 7 0 1 - 6 5 0 2  
Eメール： [mt.moriya77@gmail.com](mailto:mt.moriya77@gmail.com)

◎石川  
「戸締りしない家」  
ウイバーという説教者が、スコットランドで説教した時、聞いていた一人の女性が、感動のあまり会堂の床に倒れてしまった。まもなく起き上がって言った。「私は今、ようやく回心しました」。それまで彼女は墮落した人生を送っていたのだ。彼女がプレアゾールという山中の一軒家の貧しい家で育った。だが、そこに母親を一人残し、九年前に家を出たのだ。しかし、説教者の話で回心した彼女は、再び家に帰って、母の許しを請うために立ち上がったのである。家に着いたのは真夜中だった。途中から降った雨でびしょぬれになり、暗闇の中、ようやく遠くに家の灯りが見え始めたのである。やがて家の前に立って、静かにドアをノックしてみたが、何の答えもない。三度叩いても反応はなかった。そこでドアを押しみると、何のことはない。ドアはすーっと開いた。山奥の、しかも真夜中の一軒家に玄関の戸締りがしてない。一体どうしたのだろう。母に何かあったのだろうか、と不審に思って、小さく灯っている廊下の灯りをたよりに、勝手知ったる母親のベッドに近づいていった。母は物音に気付いて、「誰だい？」と言うと、それは確かに母の声であった。娘は恐る恐る「お母さん、私です」と答えた。さあ、その声こそ、九年の間、絶えて耳にできなかった娘の声であった。母は電気に打たれたように飛び起きて、「まあ、帰ってきてくれたのかい！」と涙ながらに娘を抱きしめたのだ。しばらくして娘は尋ねた。「この山中の夜に、どうして戸締りをしなかったの？ 何かがあったら、大変じゃありませんか」。すると老いた母が言った。「いや、今夜ばかりじゃないだよ。お前が出た夜から、いつお前が帰ってきてもいいように、灯りをつけて、鍵をしめずにおいたのだよ」。『例話大全集』小原国芳・玉川大学出版部一九七〇）  
これは放蕩娘の話である。親の思いも知らずに、自分の思うように生きたいために家を出たのだが、説教者の話で「我に返ったとき」（ルカ一五・17・新改訳）自分のあるべき姿に気づいたのである。それは母の許しを請い、回心に導いて下さった神に喜ばれるためであった。そのように私たちが我に返る時、神の愛のふところはいつも開かれていることを知るべきである。

Rev. Tsukasa Sugimura

## 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語クリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡クリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

## 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。